

1年生「総合的な探究の時間」Newsletter



Bird land

〈第4号〉

2021年7月12日

京都府立西舞鶴高等学校

—特色推進部—

〈1年生の目標〉

SDGsの視点を通して、舞鶴（北近畿）を理解し、課題発見・問題解決の能力を向上させる。

〔第6回 総合的な探究の時間〕6月10日（木）6時間目 「文章のビジュアル化2」

第6回は前回に引き続いて資料のキーワードに基づくビジュアル化を行いました。

最初に「課題研究メソッド」を使って、「具体化」「要素の書き出し」「連鎖・循環関係の明示」などの練習を行い、その後、例文を読んでビジュアル化を行いました。今回の例文は、「フェアトレード」に関する文章で、SDGsの目標10「人や国の不平等をなくそう」に該当するものです。



振り返り

○要素や具体化はこれまで習ったものよりも簡単にできてわかりやすいなと思いました。連鎖・循環は、話のつながりなどをしっかり理解しないといけないので、難しかったです。でも、書けるととてもわかりやすいと思うので、書けるようになると良いなと思いました。（4組）

○世界中にはいろいろな人がいて、お金持ちの人もいれば、貧しく今日を生き延びることすら不安に思う人もいます。人々は平等が大切といいますが、しかしそれを言う政治家やメディアに出る人は皆、高級なスーツを着て、髪をセットして、良い靴をはいています。このように言う私も平等は大切だと思うけれど行動したことは一度もありません。なぜなら、どのようにすれば、何をすればいいのかわかっていないからです。ただ、今日フェアトレードということを知ったので、これからはフェアトレードのマークがついた商品に着目したいです。（2組）

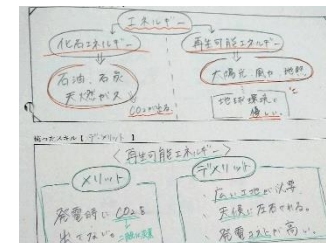
○日用品や食料品が安い価格で販売されているのは、途上国で正当な対価が払われていないからということを知りました。少し高くてもフェアトレード基準に合格した製品を買うことが大切だとわかりました。生産者は安定した生活を送り、環境に無理な負荷を掛けることなく製品が作れるようになると良いなと思いました。（3組）



〔第7回 総合的な探究の時間〕6月17日（木）6時間目 「文章のビジュアル化3」

第7回は「文章のビジュアル化」の最終回でした。「ビジュアル化」は膨大な探究資料を解釈してまとめる上で不可欠な読解スキルです。今までに「因果関係」「順序」「逆接」「具体化」「連鎖・循環」など様々な文章構造をまとめてきました。

最終回は「分類」「メリット・デメリット」「共通点・相違点」といった構造をビジュアル化しました。最初は今まで同様「課題研究メソッド」による練習をして、その後「再生可能エネルギー」に関する文章（関西電力公式サイトより）を読んでビジュアル化を行いました。今回の資料はSDGs目標7「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」に関連した資料です。



振り返り

○物事にはメリットとデメリットの両方があることに気づくことができました。再生可能エネルギーが増えると良いけど、広い土地が必要だったり、天候に左右されるなど問題点があるので、メリットがあるからといって必ずしも実現できるとは限らないのだなと思いました。図式化することで、何が問題点で、何が良い点かすぐにわかるから便利だと思いました。（2組）

○日本は技術は優れているけど、他国より再生可能エネルギーでの発電量が少ないことがわかりました。日本にとって地熱発電が困難な理由はいくつかあるけど、できるようになれば火山の噴火や地震に怯えなくてもよくなるので、初めはお金がかかっても取り組むべきだと思います。（3組）

○前回の「具体化」や「連鎖」は内容を理解しやすかったけど、今回は「メリット・デメリット」や「共通・相違」でまとめることで、内容を比較しやすくなった。そのため伝えたいことがあり、二つに分かれているときは、今回のビジュアル化を使っていきたい。（1組）

☆次回からの総探は今までの「ビジュアル化」のスキルを用いて、新聞記事から自分の興味のあるものを選んでレポートをつくる学習を行います。身近な問題について考察してみましょう。

